

基準	大分類	中分類	細目	判定		主な根拠資料（3項目程度）	収集・蓄積場所	担当部署	備考（コメント）
				Yes	No				
基準5 準学士課程の教育課程・教育方法	5-1 準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教育課程が体系的に編成されており、その内容、水準等が適切であること。	5-1-1 教育課程の編成及びカリキュラム・ポリシーに基づき、授業科目が学年ごとに適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。	(1) CPを踏まえて、適切な授業科目を体系的に配置しているか。	○		教育課程表 平成29年度シラバス 専門科目の概要	学生便覧 シラバス	教務委員会	
			(2) 一般教育の充実に配慮しているか。	○		教育課程表 平成31年度教務手帳P73 第15条2項	学生便覧 教務手帳		
			(3) 進級に関する規定を整備しているか。	○		平成31年度教務手帳P73 第15条2項 平成31年度教務手帳P75～ 各学年の	教務手帳 教務手帳		
			(4) 1年間の授業を行う期間を定期試験等を含め、35週確保しているか。	○		2019年度年間行事予定表 平成31年度教務手帳P31～32	全学生、全教員に配 教務手帳		
			(5) 特別活動を90単位時間以上実施しているか。	○		2019年度時間割表（前期及び後期）	全学生、全教員に配		
	5-1-2 教育課程の編成及び授業科目の内容について、学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請等が配慮されているか。	(1) 学生の多様なニーズ、学術の発展の動向を踏まえ、教育課程における具体的な配慮としてどのようなことを行っているか。	○		機械科：4年創作演習シラバス（エン ミニ研究シラバス ミニ研究報告書 卒業研究シラバス	シラバス シラバス 教務係 シラバス	教務委員会 アクティブラーニング推進委員会		
					(2) 他の高等教育機関との単位互換制度を設けている場合、法令に従い適切に取り扱っているか。	○			
		5-1-3 創造力・実践力を育む教育方法の工夫が図られているか。	(1) 創造力を育む教育方法の工夫を行っているか。	○		機械科：4年創作演習シラバス（エン ミニ研究シラバス ミニ研究報告書 卒業研究シラバス	シラバス シラバス 教務係 シラバス	教務委員会 アクティブラーニング推進委員会	創造性・実践力に関して、授業前後で○印をつけるような調査例がある。機会を見て実施の可能性に関して検討する。
			(2) 実践力を育む教育方法の工夫を行っているか。	○		校外実習・実務研修・インターンシップ 平成31年度学生便覧P46 校外実習実 インターンシップ実習先一覧 平成31年度教務手帳P80 内規（資格	シラバス 学生便覧 教務係 教務手帳		
	5-2 準学士課程の教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されていること。	5-2-1 カリキュラム・ポリシーに照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導上の工夫がなされているか。	(1) CPに照らして、講義、演習、実験、実習等の適切な授業形態が採用されているか。	○		教育課程表 時間割編成資料 平成31年度教務手帳P7 カリキュラム	学生便覧 会議・委員会議事要 教務手帳	教務委員会	
			(2) 教育内容に応じて行っている。学習指導上の工夫には、どのような工夫があるか。	○		卒業研究発表会実施資料（少人数教育 ミニ研究報告書（少人数教育資料とし 英会話クラス分け資料（少人数教育資	会議・委員会議事要 教務係 教務係		
		5-2-2 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）の趣旨に沿って、適切なシラバスが作成され、活用されているか。	(1) CPを踏まえて適切に設定された項目に基づきシラバスを作成しているか。	○		平成31年度教務手帳P8～9 学科ごと 学科ごとの教育課程編成方針に対応し	教務手帳 シラバス		
		(2) 教員及び学生のシラバス活用状況を把握し、その把握した状況を基に改善を行っているか。	○		新任教員及び 非常勤講師ガイダンス	教務係		授業改善アンケートに「あなたはシラバスで授業内容を確認していましたか」及び「シラバスの内容は適切に作成されていましたか」を加えてもらえないかFD委員会にお願いする。	

基準	大分類	中分類	細目	判定		主な根拠資料 (3項目程度)	収集・蓄積場所	担当部署	備考 (コメント)	
				Yes	No					
			(3) 設置基準17条第3項の30単位時間授業では1単位あたり30時間(履修単位科目)を確保しているか。	○		平成31年度学生便覧P48 第13条 時間割表 教育課程表	学生便覧 全学生, 全教員に配 学生便覧	教務委員会		
			(4) 履修単位科目では1単位時間を50分としているか。	○		平成31年度学生便覧P48 第13条 時間割表	学生便覧 全学生, 全教員に配			
			(5) 学修単位科目を配置している場合には, 1単位の履修時間は授業時間以外の学修等を合わせて45時間であることを明示しているか。	○		平成31年度学生便覧P48 第13条	学生便覧			
5-3 準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)並びに卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に基づき、成績評価・単位認定及び卒業認定が適切に行われており、有効なものとなっていること。	5-3-1 成績評価・単位認定基準が、教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。	(1) 成績評価や単位認定に関する基準を、CPIに基づき、策定しているか。	○		平成31年度教務手帳P8 カリキュラム 平成31年度教務手帳P72 規則第4章	教務手帳 教務手帳				
		(2) 成績評価や単位認定に関する基準に基づき、各授業科目の単位認定等を行なっているか。	○		成績一覧 欠課一覧	会議・委員会議事要 会議・委員会議事要				
		(3) 学修単位科目で、授業時間以外の学習の評価がシラバス記載どおりに行われていることを学校として把握しているか。		○						自学学習時間の計画表様式を作成し、科目担当教員で作成した計画表を認証評価ファイルに綴ってもら等を評価改善委員会で検討いただくようお願いする。
		(4) 成績評価や単位認定に関する基準を学生に周知しているか。	○		平成31年度学生便覧P27 規則 福島高専HPでの学内規則公開 高専WEBシラバスによる公開	学生便覧 HP webシラバス		教務委員会		
		(5) 成績評価や単位認定に関する基準が学生に周知されているか。	○							
		(6) 追試、再試の成績評価方法を定めているか。	○		平成31年度教務手帳P72 第7条~第9	教務手帳				
		(7) 成績評価結果に関する学生からの意見申立の機会があるか。	○		年間行事予定表	教務手帳				
		(8) 成績評価の客観性、厳格性を担保するため、どのような組織的な措置を行なっているか。		○	認証評価ファイル	成績エビデンス保管				「自己点検評価及び認証評価自己評価書作成専門部会」で年に一度エビデンスのチェック(成績評価がシラバス通りか、試験問題のレベル等)を各学科10科目程度行い、評価改善委員会に結果を報告する。(評価改善)
5-3-2 卒業認定基準が、卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、卒業認定が適切に実施されているか。	(1) 学則等に、修業年限を5年と定めているか。	○		平成31年度教務手帳P47 学則第2条	教務手帳					
	(2) DPIに基づき、卒業認定基準を定めているか。		○	平成31年度教務手帳P4、P12~26 平成31年度教務手帳P73 第15条	教務手帳 教務手帳			DPの項目ごとに達成状況を把握・評価するEXCEL表を作成し、無作為にクラス数名程度の成績を入力する。この結果にて卒業認定基準の妥当性を評価する。この表の作成は改善・改革策定専門部会で実施する。(評価改善)		
	(3) 卒業認定基準に基づき、卒業認定しているか。	○		修得単位一覧表	会議・委員会議事要		教務委員会			
					平成31年度学生便覧P30 第15条 福島高専HPでの学内規則公開	学生便覧 HP				

基準	大分類	中分類	細目	判定		主な根拠資料（3項目程度）	収集・蓄積場所	担当部署	備考（コメント）
				Yes	No				
			(4) 卒業認定基準を学生に周知しているか。	○					
			(5) 卒業認定基準の学生への周知状況を学校として把握しているか。		○				